

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 160

事務事業名	鍼灸助成事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	橋本 学	内線	110

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020402	暮らしのセーフティネットの充実
施策		社会保障制度の安定的運営
関連施策		

会計	国民健康保険事業特別会計	
款	8	保健事業費
項	1	保健事業費
目	2	鍼灸助成費
事業コード	020000	鍼灸助成事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	国民健康保険加入者で鍼灸治療を受診する者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	鍼灸施術により被保険者の健康の保持・増進及び医療費の伸びの抑制を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	鍼灸施術1回につき700円(月8回まで)を助成する。		
事業期間	昭和 36 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	国民健康保険法・大村市国民健康保険条例第7条、大村市国民健康保険はり、きゅう施術規則		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 施術院数	計画値	21	17	15	14	
		実績値	17	16	15		
	達成度	%	81.0%	94.1%	100.0%		
	② 助成対象者数(月平均)	計画値	350	300	300	200	
実績値		269	229	186			
達成度	%	76.9%	76.3%	62.0%			
成果指標	① 鍼灸助成件数	計画値	11,629	11,017	9,612	8,578	
		実績値	10,497	9,224	7,712		
	達成度	%	90.3%	83.7%	80.2%		
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	7,759	6,768	5,709	6,338	5,357	4,985	4,639	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	738	2,358	2,418	2,213	1,784	1,660	1,545	
一般財源	7,021	4,410	3,291	4,125	3,573	3,325	3,094	
② 人件費(千円)	795	756	705	727	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	鍼灸施術に対する助成	鍼灸施術に対する助成	鍼灸施術に対する助成	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	8,554	7,524	6,414	7,065				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	施術録と施術明細書を照合し、支給処理を行っている。 また、施術録により、被保険者毎の施術回数をデータ化しており、頻回傾向、長期継続の被保険者に対しては調査票を送付している。
事業が抱える問題・課題等	同じ被保険者が長期にわたり受診しているケースや施術者によって受診回数が多いケースがある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	保険適用とならない鍼灸施術に対して、被保険者の健康や医療費抑制の観点から必要性が高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市国保の保険給付費の抑制のため、市で行うべきである。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	被保険者の減少に伴い、助成件数は減少傾向にあるが、延べ件数は9千件以上の実績がある。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	保険給付費の抑制につながり、大村市国保の安定的な運営に有効である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	助成単価及び回数については、他市町の状況も見ながら検討を行う。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	助成額を除く部分については、被保険者本人が負担している。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	施術録をもとに作成したデータを活用し、長期にわたり受診している被保険者や受診回数が多い被保険者をリスアップし、被保険者調査票を送付する。 その回答に基づき、多受診・重複受診者と合わせ、保健指導を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	被保険者の健康の保持、医療費抑制に効果がある。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。